実習評価表

実習病院略名　（　　　　　　）病院（　　　　　　　　　　）病棟　　学籍番号（　　　　　　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **評　　価　　項　　目** | **学生** | **臨地** | **大学** |
| **看　護　過　程　の　展　開** | 1 | 収集した情報を整理し、対象を取り巻く現在の状況について全人的に捉えることができる。 |  |  |  |
| 2 | 対象者に起きている現象や行われている治療（作業療法、薬物療法などを含む）、対象者の言葉や行動のもつ意味について捉えることができる。 |  |  |  |
| 3 | 対象の健康的側面も含めて全体像を捉えることができる。 |  |  |  |
| 4 | 対象者がより健康な状態になるために、生活上の困難を捉えることができる。 |  |  |  |
| 5 | 様式２～４から導いた看護の方向性を、様式５を用いてまとめることができる。 |  |  |  |
| 6 | 生活上の困難に対して、必要とされる支援を対象とともに考えて、希望に応じた長・短期目標を設定することができる。 |  |  |  |
| 7 | 目標達成に向けて個別性を考慮し、学生として実施可能なケアを具体化することができる。（社会資源の活用も含む） |  |  |  |
| 8 | 対象とのかかわりの中で、反応を確かめながら、計画を実施することができる。 |  |  |  |
| 9 | 実施した看護を日々評価し、内容を再度アセスメントして計画修正の必要性を検討することができる。 |  |  |  |
| **精　神　保　健　看　護** | 10 | 対象者の社会参加の現状を知り、社会復帰に必要な社会資源について考えることができる。 |  |  |  |
| 11 | 精神看護における継続看護の必要性、および他職種との連携について理解することができる。 |  |  |  |
| 12 | 看護場面を再構成し、自己の関わりが対象にどのような影響を与えているかを考えることができる。 |  |  |  |
| 13 | 自己の思考および行動傾向を知り、自己理解および今後の課題を明確にすることができる。 |  |  |  |
| 14 | 対象にとっての自分にどのような課題があるかを見出すことができる。 |  |  |  |
| 15 | 記録物を期限内に提出し、アドバイスや指導を受けた部分を修正することができる。 |  |  |  |
| **実　習　態　度** | 16 | 精神看護の場に関心を示し、意欲をもって実習に臨むことができる。 |  |  |  |
| 17 | カンファレンスで他者の意見を尊重し、積極的に意見を述べることができる。 |  |  |  |
| 18 | 対象に対する守秘義務を重んじ、その上で自分自身の情報も守ることができる。 |  |  |  |
| 19 | 看護学生として、報告 ・連絡 ・相談を適切に行うことができ、時間厳守、身だしなみ、言葉遣い等、他者を尊重した対応ができる。 |  |  |  |
| 20 | 実習全体を通して、精神保健看護に必要な態度を身につけることができる。 |  |  |  |
| **実習指導者総評：**氏名 | **評価基準**＜５点×20項目＞**５** ：助言がなくてもできる**４** ：少しの助言でできる**３** ：ある程度の助言でできる**２** ：全面的な助言が必要**１** ：助言を受けてもできない**０**：記録未提出**欠席1日－2点****無断欠席－10点****遅刻、早退－1点** | 計 | 計 | 計 |
| 欠席　　 　　　日遅刻　 　　　　回早退　 　　　　回記録提出遅れ　　　　回**該当者は合計点から****減点する。** |
| **指導教員総評：**氏名 |
| **科目責任者**　　　　　　　　　　　　　　印 | **最終評価** |

**九州看護福祉大学看護福祉学部　看護学科　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　精神看護学実習記録【 様式 １ 】**